

令和8年7月15日（水）

水泳指導の最後は、全校で着衣泳を行いました。服を着た時の泳ぎにくさを実感し、どのように救助を待つか指導しました。その後、海上保安庁の保安官から救命胴衣の重要性と正しい着用方法について指導していただきました。全児童が、自分に合うサイズの救命胴衣を着用し、浮力を体感しました。泳ぐことが苦手な児童も上手に浮くことができ、救命胴衣の安全性を実感しました。また、溺れそうになった先生や児童を救助する実演をしてくださり、すごい速さで救助する姿に歓声が挙がりました。最後に、感想や質問を述べ、海上保安官の仕事の大切さも学びました。海上保安官の皆さん、ありがとうございました。

全校児童で着衣泳を行いました



救助まで、ペットボトルで浮いて待つための練習



海上保安官から救命胴衣の重要性の講習会



自分に合うサイズの救命胴衣を着用しました



救命胴衣を着て、浮力を実感しました



1・2年生もしっかり浮いていました



溺れた児童を救助する実演をしていただきました



意欲的に感想や質問を述べていました



最後に、代表児童がお礼の言葉を述べました



良い姿勢で書写を行う1年生



お楽しみ会の準備を行う2年生



綺麗な音で、リコーダーを吹く3年生



里山プロジェクトで、書中見舞いはがきを書く4年生



家庭科で、小物を手縫いで作る5年生

